

# 平成25年度 第3回市川市史編さん委員会

日 時:平成 26 年 3 月 25 日(火)  
18 時 00 分~20 時 00 分  
場 所:中央公民館 2 階 第 2 会議室

## 会議次第

1. 議 題 「市川市史」編さんの方向性について
2. 報 告 (1) 平成 26 年度事業予算について  
ア. 「写真図録 (仮称)」について  
イ. 「自然編」について  
(2) 平成 25 年度の調査活動について
3. 連絡事項

閉 会



## 1. 編さん開始の契機（新しい市史の必要性）

- (1) 広く市民に親しまれ、活用される市史が必要である。
- (2) 刊行後 30 年以上が経過しているため、この間の調査研究の成果を最新の情報とともに盛り込むものとする。

基本方針：「市民にとってわかりやすく、親しみやすい市史とする」

## 2. 新たな市史の特色（新しい市史の方向性）

- (1) 通史的構成にとどまらず、市民が興味を抱く分野に横串を入れるような横断的な構成とする。
- (2) 一般庶民（生活者）の視点に立ち、各時代の歴史の流れの中で庶民がどのように暮らし、どのような影響を受けてきたのを明確にすることを重視した市史とする。

## 3. 「市川市史」各編の概要

### (1) 「歴史編」「民俗編」「自然編」の 3 分野とした理由

基本方針の実現にあたっては、歴史分野だけではなく、市民が今の生活との繋がりを身近に感じやすい、民俗や動植物に関する分野を新たに加え、歴史編・民俗編・自然編の 3 分野で市史を構成することが望ましいと考えた。

3 分野で市史を構成することで、通史的な縦軸の流れとは別に、横軸の広がりをもたせることができ、市民が抱く多様な興味にも対応しやすい市史とすることができると思われる。

### (2) 自然編の概要

昭和から平成にかけての時代を中心に、市内に生息する動植物と市民生活との関わりを、市川の歴史的な事物と絡めながらとりあげる。

### (3) 民俗編の概要

市民から直接見聞きした調査の成果を中心に、各地域の日常生活の営みや行事等を取りあげる。調査項目別ではなく、各地域の特色を表す章立てとすることで、地域に暮らす市民にとって親しみやすい内容とする。

### (4) 歴史編の概要

通史的（時代順）の構成ではなく、「地形と環境」「ムラとマチ」「まつりごとの展開」「変貌する市川市域」というテーマ構成とすることで、ひとつの時代を様々な角度から取り上げる。各テーマでは歴史的な流れを追いながらも、当時の市民生活や市域の特色が浮かび上がるような事柄を重点的に取り上げる。また、「国府」「国分寺」「法華経寺」など市民の関心が高い事柄は、最新の調査成果を盛り込んだ内容とする。